

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地		
吉田学園情報ビジネス専門学校	昭和61年12月2日	澁谷 寿継	〒065-0015 札幌市東区北15条東6丁目3番1号 (電話) 011-711-6311		
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地		
学校法人吉田学園	昭和53年10月31日	吉田 松雄	〒060-0063 札幌市中央区南3条西1丁目15番地 (電話) 011-272-6070		
目 的	本学科は、高等学校教育の基礎の上に職業人として必要な知識及び技術を授け、IT業種・業界に適応しうる資質の向上を目標とし、有意な人材の育成を図るための教育を行うことを目的とする。				
課 程 名	学 科 名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
工業専門課程	情報システム学科	2年(昼)	2,820時間 (又は単位)	平成19年文部科学省告示第20号	—
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技
	1,440時間	1,380時間	0時間	0時間	0時間
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人	25人	2人	6人	8人	
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日	成績評価	■成績表 (有・無) ■成績評価の基準・方法について ・成績評価は100点満点とし、点数によりA～Dに分類、うちA～Cを合格とし単位修得を認める。 ・評価方法は定期試験、課題並びに学習活動等を総合的に勘案して行う。		
長期休み	■学年始め：なし ■夏 季：7月28日～8月21日 ■冬 季：12月22日～1月11日 ■学 年 末：3月24日～3月31日	卒業・進級条件	・教育課程の定めるところにより、教育指導計画に従って履修しその成果が満足と認められた場合。 ・加えて卒業は修業年限以上在学した場合。		
生徒指導	■クラス担任制 (有・無) ■長期欠席者への指導等の対応 ・クラス担任制をとり早期段階で注意喚起・面接指導を実施。必要に応じ保護者との三者面談を通し学習意欲の向上を促す。	課外活動	■課外活動の種類 ■サークル活動 (有・無)		

<p>主な就職先</p>	<p>■主な就職先、業界 IT業界 (株)アベルソフト ウェルネット(株) (株)エスイーギルド (株)メガ・テクノロジー (株)ルテック リアルタイムメディア(株) プロフェッショナル・ネットワーク・コンサルティング(株) 他</p> <p>■就職率 90% ■卒業者に占める就職者の割合90% ■その他(任意)</p> <p>(平成27年度卒業者に関する平成28年5月時点の情報)</p>	<p>主な資格・検定</p>	<p>・LPICレベル1 ・CompTIA認定資格 ・仮想化基礎検定試験 ・基本情報技術者試験 他</p>
<p>中途退学の現状</p>	<p>■中途退学者0名 ■中退率0.00% 平成27年4月1日在学者33名(平成27年4月入学者を含む) 平成28年3月31日在学者33名(平成28年3月卒業生を含む)</p> <p>■中途退学の主な理由 なし</p> <p>■中退防止のための取組 (学業不振者) 単位未取得になる可能性が高い者には補填授業等を行い、未取得者を増加させない取り組みをしている。</p> <p>(学校生活不適應者) クラス担任等が細目に学生個々人に目を配り、生活の変化があった場合にはすぐに個別面談等を行う等、怠惰な学生を減少させる取組をしている。</p>		
<p>ホームページ</p>	<p>URL: http://www.yoshida-jobi.jp/</p>		

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

工業分野教育課程編成委員会は、工業分野における推薦学科等において、実践的かつ専門的な職業教育を実施するため、企業等との連携を通じ必要な情報の把握・分析を行い、教育課程の編成（授業科目開設・授業内容・実施方法の改善・工夫等）に活かすことを基本方針とする。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成 28 年 5 月 1 日現在

名 前	所 属
近江 栄治	経済産業省北海道経済産業局地域経済部 参事官
篠原 たかこ	公益財団法人画像情報教育振興協会教育事業部 担当部長
戸田 隆元	株式会社ボーンデジタル 取締役
中嶋 知彦	株式会社ロケットスタジオ 取締役
今井 茂樹	中央コンピューターサービス株式会社大学事業部 次長
澁谷 寿継	学校法人吉田学園 吉田学園情報ビジネス専門学校 校長
橋本 直樹	学校法人吉田学園 吉田学園情報ビジネス専門学校 副校長
千葉 一俊	学校法人吉田学園 吉田学園情報ビジネス専門学校 学科長
川東 博之	学校法人吉田学園 吉田学園情報ビジネス専門学校 主任

(開催日時)

第 1 回 平成 28 年 7 月 27 日 17:30~19:00

第 2 回 平成 29 年 2 月上旬 (予定)

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

・職業教育協定書（事業委託契約書）による連携を基本とし、実践的かつ即戦力となり得る技術習得を目指すために連携を行うもの。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
システム開発総合実践	システム開発における基本計画、外部設計、内部設計、プログラム設計、テスト仕様設定の各工程の作業概要の習得。実際に企業の協力を得ながらチーム開発を実践する。	ウェルネット株式会社 株式会社コンピュータビジネス

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

教員は、次に掲げる各研修を通し、現在就いている業務又は将来就くことが予想される業務の遂行に必要な知識・技術・技能等を修得するとともに、その他その遂行に必要な能力・資質等の向上を図ることを基本方針とする。

- ・教職員研修会
- ・教育職員研修（自主研修・職業実践研修）
- ・新入職員研修
- ・階層別研修
- ・外部研修等（学会等を含む）

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成 28 年 5 月 1 日現在

名 前	所 属
前田 實	一般社団法人札幌消防交友会 理事長
根本 昌幸	株式会社セノン北海道支社 教育課長
篠原 たかこ	公益財団法人画像情報教育振興協会教育事業部 担当部長
戸田 隆元	株式会社ボーンデジタル 取締役
中嶋 知彦	株式会社ロケットスタジオ 取締役
今井 茂樹	中央コンピューターサービス株式会社大学事業部 次長

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <http://www.yoshida-jobi.jp/>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://www.yoshida-jobi.jp/>

授業科目等の概要

(工業専門課程 情報システム学科) 平成 28 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			コンピュータシステム基礎技法	コンピュータに関する基礎知識の習得。	1	150	9	○		
○			プログラミング基礎技法	Java 言語の文法とオブジェクト指向プログラミングの学習。	1	240	16	○		
○			プログラミング応用技法	プログラミング基礎技法の知識に基づいてライブラリ API を使用した実践的なプログラミングの習得。 Android アプリケーション開発に必要な知識の習得。	2	240	12		○	
○			システム開発基礎技法	システム開発のユーザインターフェースとして重要性の高い、Web ページ制作技術の習得。	1	240	12	○		
○			システム開発応用技法	高度な Web アプリケーションの習得。 LANP 環境の習得。	2	210	6	○	○	
○			システム開発実践技法	システム開発における基本計画、外部設計、内部設計、プログラム設計、テスト仕様設定の各工程の作業概要の習得。 実際に企業の協力を得ながらチーム開発を実践する。	3	660	22		○	
○			ネットワーク技法	各種サーバの構築・運用・管理方法の習得。 Linux での管理技術の習得。	1 2	300 330	20 18	○	○	
○			ビジネス関連基礎技法	ビジネスツールとして必須の表計算ソフト Excel を習得。 自分の考えをまとめ他人に伝えるための方法論をマイクロソフト Powerpoint を活用して習得。 IT パスポート等の資格取得対策の実施。	2 3	120 90	8 5	○	○	
○			ビジネス関連応用技法	就職受験に備えたビジネスマナーの習得。 就職受験に備えた筆記試験（SPI、一般常識）対策。 面接練習等。	1 2 3	60 60 60	4 4 4	○		
		○	基本情報試験対策	国家試験「基本情報技術者試験・午前試験」の終了試験合格を目的とした問題演習。	1	60	2	○		
合計				10 科目	2,760～2,820 時間					

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地		
吉田学園情報ビジネス専門学校	昭和61年12月2日	澁谷 寿継	〒065-0015 札幌市東区北15条東6丁目3番1号 (電話) 011-711-6311		
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地		
学校法人吉田学園	昭和53年10月31日	吉田 松雄	〒060-0063 札幌市中央区南3条西1丁目15番地 (電話) 011-272-6070		
目 的	本学科は、高等学校教育の基礎の上に職業人として必要な知識及び技術を授け、ゲーム業種・業界に 適応しうる資質の向上を目標とし、有意な人材の育成を図るための教育を行うことを目的とする。				
課 程 名	学 科 名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に 必要な総授業時 数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
工業専門課程	ゲーム学科	2年(昼)	2,010時間 (又は単位)	平成19年文部科学 省告示第20号	—
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技
	960時間	1,050時間	0時間	0時間	0時間
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人	69人	2人	7人	9人	
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日	成績評価	■成績表 (有・無) ■成績評価の基準・方法につ いて ・成績評価は100点満点とし、 点数によりA～Dに分類、うちA ～Cを合格とし単位修得を認め る。 ・評価方法は定期試験、課題並 びに学習活動等を総合的に勘案 して行う。		
長期休み	■学年始め：なし ■夏 季：7月28日～8月21日 ■冬 季：12月22日～1月11日 ■学 年 末：3月24日～3月31日	卒業・進級条件	・教育課程の定めるところによ り、教育指導計画に従って履修 しその成果が満足と認めた場 合。 ・加えて卒業は修業年限以上在 学した場合。		
生徒指導	■クラス担任制 (有・無) ■長期欠席者への指導等の対応 ・クラス担任制をとり早期段階で注 意喚起・面接指導を実施。必要に応 じ保護者との三者面談を通し学習 意欲の向上を促す。	課外活動	■課外活動の種類 ■サークル活動 (有・無)		

<p>主な就職先</p>	<p>■主な就職先、業界 ゲーム業界 (株)ロケットスタジオ (株)トセ (株)アレク (株)エーイング ObjectS(株) ピセ(株) (株)ティ social sharing(株) (株)サイクロゼロ (株)クラウド</p> <p style="text-align: right;">他</p> <p>■就職率 91.1% ■卒業者に占める就職者の割合93.9% ■その他（任意）</p> <p>(平成27年度卒業者に関する平成28年5月時点の情報)</p>	<p>主な資格・検定</p>	<p>・MOS検定 他</p>
<p>中途退学の現状</p>	<p>■中途退学者3名 ■中退率4.05% 平成27年4月1日在学者74名（平成27年4月入学者を含む） 平成28年3月31日在学者71名（平成28年3月卒業生を含む）</p> <p>■中途退学の主な理由 進路変更</p> <p>■中退防止のための取組 （学業不振者） 単位未取得になる可能性が高い者には補填授業等を行い、未取得者を増加させない取り組みをしている。</p> <p>（学校生活不適應者） クラス担任等が細目に学生個々人に目を配り、生活の変化があった場合にはすぐに個別面談等を行う等、怠惰な学生を減少させる取組をしている。</p>		
<p>ホームページ</p>	<p>URL: http://www.yoshida-jobi.jp/</p>		

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

工業分野教育課程編成委員会は、工業分野における推薦学科等において、実践的かつ専門的な職業教育を実施するため、企業等との連携を通じ必要な情報の把握・分析を行い、教育課程の編成（授業科目開設・授業内容・実施方法の改善・工夫等）に活かすことを基本方針とする。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成 28 年 5 月 1 日現在

名 前	所 属
近江 栄治	経済産業省北海道経済産業局地域経済部 参事官
篠原 たかこ	公益財団法人画像情報教育振興協会教育事業部 担当部長
戸田 隆元	株式会社ボーンデジタル 取締役
中嶋 知彦	株式会社ロケットスタジオ 取締役
今井 茂樹	中央コンピューターサービス株式会社大学事業部 次長
澁谷 寿継	学校法人吉田学園 吉田学園情報ビジネス専門学校 校長
橋本 直樹	学校法人吉田学園 吉田学園情報ビジネス専門学校 副校長
千葉 一俊	学校法人吉田学園 吉田学園情報ビジネス専門学校 学科長
川東 博之	学校法人吉田学園 吉田学園情報ビジネス専門学校 主任

(開催日時)

第 1 回 平成 28 年 7 月 27 日 17:30~19:00

第 2 回 平成 29 年 2 月上旬 (予定)

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

教育サポート契約書による連携を基本とし、実践的かつ即戦力となり得る技術習得を目指すために連携を行うもの。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
制作応用演習	3 職種（プログラマー・デザイナー・プランナー）に分かれて、それぞれの担当業務を疑似体験しながら 1 つのゲームを完成させる。	株式会社ボーンデジタル

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

教員は、次に掲げる各研修を通し、現在就いている業務又は将来就くことが予想される業務の遂行に必要な知識・技術・技能等を修得するとともに、その他その遂行に必要な能力・資質等の向上を図ることを基本方針とする。

- ・教職員研修会
- ・教育職員研修（自主研修・職業実践研修）
- ・新入職員研修
- ・階層別研修
- ・外部研修等（学会等を含む）

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成 28 年 5 月 1 日現在

名 前	所 属
前田 實	一般社団法人札幌消防交友会 理事長
根本 昌幸	株式会社セノン北海道支社 教育課長
篠原 たかこ	公益財団法人画像情報教育振興協会教育事業部 担当部長
戸田 隆元	株式会社ボーンデジタル 取締役
中嶋 知彦	株式会社ロケットスタジオ 取締役
今井 茂樹	中央コンピューターサービス株式会社大学事業部 次長

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <http://www.yoshida-jobi.jp/>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://www.yoshida-jobi.jp/>

授業科目等の概要

(工業専門課程 ゲーム学科) 平成 26 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験・ 実 習・ 実 技
○			プログラミング基礎技法	プログラムをつくるために必要とされる言語について学習。 変数や文法など基礎知識を習得。	1	90	6	○	○	
○			プランニング関連技法	ゲームプランニングの基礎を学習。	1	90	6	○		
○			デザイン関連技法	デッサンを通して光と陰についての理解を深める。 ペイント系ソフトウェアである PhotoShop のオペレーション技術を習得。 キーフレームアニメーションの習得。	1	150	10	○	○	
○			ビジネス関連技法	就職受験に備えたビジネスマナーの習得。 就職受験に備えた筆記試験（SPI、一般常識）対策。 面接練習等。	1 2	60 60	4 4	○		
○			制作応用演習	3職種（プログラマー・デザイナー・プランナー）に分かれて、それぞれの担当業務を疑似体験しながら1つのゲームを完成させる。	1	180	12		○	
○			卒業制作	これまで学習してきた知識・技術の集大成として作品制作を行う。 完成作品は「卒業制作発表会」を実施し発表する。	2	300	10		○	
	○		ゲームプログラミング技法	3D ゲーム制作技術の習得。 オンラインゲーム制作技術の習得。 コンシューマーゲーム開発機材を用いてセットアップ・開発手法の習得。	1 2	390 480	26 20	○	○	
	○		ゲームプランニング技法	企画書・仕様書を作成するにあたってのアイデア発想手法や書類作成方法を習得。 プランニング実践として、発注書の記入、チーム運営、スケジュール管理を習得。	1 2	390 480	26 20	○	○	
	○		ゲームグラフィック技法	Illustrator、Premiere、AfterEffects のオペレーション技術を習得。 キャラクターモデリング・セットアップ・UV テクスチャまでを学習してゲームキャラクターの作成技法を習得。	1 2	420 480	28 20	○	○	
		○	デッサン応用	物の形態や構造・質感・空間の捉え方などを、鉛筆デッサンを学習しながら身につける。	1 2	60 120	2 4		○	
合計				10 科目	1,800～2,010 時間					

※選択必修科目は、ゲームプログラミング技法・ゲームプランニング技法・ゲームグラフィック技法の中から1科目を選択必修する。

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
吉田学園情報ビジネス専門学校	昭和61年12月2日	澁谷 寿継	〒065-0015 札幌市東区北15条東6丁目3番1号 (電話) 011-711-6311			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人吉田学園	昭和53年10月31日	吉田 松雄	〒060-0063 札幌市中央区南3条西1丁目15番地 (電話) 011-272-6070			
目 的	本学科は、高等学校教育の基礎の上に職業人として必要な知識及び技術を授け、あらゆる業種・業界に適応しうる資質の向上を目標とし、有為な人材の育成を図るため、教育を行うことを目的とする。					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
文化・教養	専門課程	公務員学科	2年(昼)	1,854時間	平成22年文部科学省告示第30号	—
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	1,692時間	162時間	0時間	0時間	0時間	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
160人	74人	3人	9人	12人		
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日			成績評価	■成績表(有・無) ■成績評価の基準・方法について ・成績評価は100点満点とし、点数によりA～Dに分類、うちA～Cを合格とし単位修得を認める。 ・評価方法は定期試験、課題並びに学習活動等を総合的に勘案して行う。	
長期休み	■学年始め：なし ■夏 季：8月6日～8月21日 ■冬 季：12月22日～1月11日 ■学 年 末：3月24日～3月31日			卒業・進級条件	・教育課程の定めるところにより、教育指導計画に従って履修しその成果が満足と認められた場合。 ・加えて卒業は修業年限以上在学した場合。	
生徒指導	■クラス担任制(有・無) ■長期欠席者への指導等の対応 ・クラス担任制をとり早期段階で注意喚起・面接指導を実施。必要に応じ保護者との三者面談を通し学習意欲の向上を促す。			課外活動	■課外活動の種類 ボランティア活動(街頭募金、北海道マラソンスタッフ) ■サークル活動(有・無)	

就職等の状況	<p>■主な就職先、業界 北海道警察、札幌市消防、釧路市消防、小樽市消防、自衛官候補生、刑務官、入局管理局、検察局 札幌市職員深川市職員、留萌市職員、喜茂別町職員、白糠町職員、羽幌町職員、</p> <p>■就職率 100%</p> <p>■卒業者に占める就職者の割合93.3%</p> <p>■その他（任意）</p> <p>（平成27年度卒業者に関する平成28年5月時点の情報）</p>	<p>主な資格・検定</p>	<p>・国家公務員一般職 ・北海道職員初級 ・自衛官 ・警察官 ・消防士 ・市職員 ・簿記検定 ・所得税法検定 ・電卓計算検定</p>
中途退学の現状	<p>■中途退学者4名 ■中退率5.00%</p> <p>平成27年4月1日在学者80名（平成27年4月入学者を含む） 平成28年3月31日在学者76名（平成28年3月卒業生を含む）</p> <p>■中途退学の主な理由 進路変更、経済的事情</p> <p>■中退防止のための取組 （学業不振者） 単位未取得になる可能性が高い者には補填授業等を行い、未取得者を増加させない取り組みをしている。 （学校生活不適應者） クラス担任等が細目に学生個々人に目を配り、生活の変化があった場合にはすぐに個別面談等を行う等、怠惰な学生を減少させる取組をしている。</p>		
ホームページ	URL: http://www.yoshida-jobi.jp/		

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ① 「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除いたものとする。
- ② 「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※ 「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成28年5月1日現在

名 前	所 属
前田 實	一般社団法人札幌消防交友会 理事長
根本 昌幸	株式会社セノン北海道支社 教育課長
澁谷 寿継	学校法人吉田学園 情報ビジネス専門学校 校長
橋本 直樹	学校法人吉田学園 情報ビジネス専門学校 副校長
阿部 賢司	学校法人吉田学園 吉田学園情報ビジネス専門学校 副学科長
中畑 賢一	学校法人吉田学園 情報ビジネス専門学校 主任

(開催日時)

第1回 平成28年7月27日 15:00~16:00

第2回 平成29年2月上旬(予定)

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

事業委託協定書による連携を基本とし、実践的かつ即戦力となり得る人材の育成を目指すために連携を行うもの。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
2次試験対策 (総合演習)	公務員採用試験合格を目指すため、重要項目とされる面接試験の対策、及び社会人としての心構えについて、連携企業の指導を受けながら、学生の職業観の育成と社会で必要な表現力を身につけさせることを目的とする。	一般社団法人 札幌消防交友会

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

教員は、次に掲げる各研修を通し、現在就いている業務又は将来就くことが予想される業務の遂行に必要な知識・技術・技能等を修得するとともに、その他その遂行に必要な能力・資質等の向上を図ることを基本方針とする。

- ・教職員研修会
- ・専門学校教育研修会
- ・新入職員研修
- ・階層別研修
- ・外部研修等(学会等を含む)

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成 28 年 5 月 1 日現在

名 前	所 属
前田 實	一般社団法人札幌消防交友会 理事長
根本 昌幸	株式会社セノン北海道支社 教育課長
篠原 たかこ	公益財団法人画像情報教育振興協会教育事業部 担当部長
戸田 隆元	株式会社ボーンデジタル 取締役
中嶋 知彦	株式会社ロケットスタジオ 取締役
今井 茂樹	中央コンピューターサービス株式会社大学事業部 次長

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <http://www.yoshida-jobi.jp/>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://www.yoshida-jobi.jp/>

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程 公務員学科)										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			一般教養 (国語)	「国語」及び「文章理解」について、基礎から応用を学ぶ。また、漢字力や論作文指導も行う。	1 2	120 72	8 4	○		
○			一般教養 (英語)	「英語文章理解」を攻略するため、文法・単語力の英語基礎から、長文読解力の応用を学習する。また、基礎クラスと応用クラスで展開授業する。	1 2	60 36	4 2	○		
○			一般教養 (数学)	方程式・不等式、関数などの問題を中心に数学基礎から応用を学習する。また、基礎クラスと応用クラスで展開授業する。	1 2	60 36	4 2	○		
○			一般教養 (政治・経済)	日本国憲法を中心としての政治、財政・金融など経済の基礎を学習する。また、時事問題、基本的用語を習得する。	1 2	120 72	8 4	○		
○			一般教養 (歴史)	「日本史」及び「世界史」の個々の歴史事実とその因果関係を正しく理解し、生きた知識としてしっかり学習する。	1 2	120 72	8 4	○		
○			一般教養 (地理)	「地理」的事実とその因果関係を正しく理解し、世界の気候や農業・工業、各国地誌、時事的問題、地図上での把握理解を目指す。	1 2	60 36	4 2	○		
○			一般知能 (数的)	数的推理・資料解釈の問題を基礎から応用まで学ぶ。問題演習を繰り返し行い、公務員本試験での得点力アップを目指す。	1 2	180 108	12 7	○		
○			一般知能 (判断)	判断推理・空間把握の問題を基礎から応用まで学ぶ。問題演習を繰り返し行い、公務員本試験での得点力アップを目指す。	1 2	180 108	12 7	○		
○			総合演習	公務員本試験模擬試験の基礎・実践編を実施し、各自の弱点分野の把握とその改善を目指す。 漢字・計算などの基礎問題演習を中心に基礎学力向上を目指す。	1 2	90 108	4 6	○		
○			ビジネス関連技法	社会人として必要な表計算 (Excel)、文書作成 (Word)、プレゼンテーション (PowerPoint) の知識、技能等を学習する。面接対策での基本動作訓練から、個別・集団形式での模擬面接を実施する。	1 2	60 156	4 10	○	○	
合計				10 科目	1,854 時間					